



森のなかま

2016年6月号

NO.98 (継続243号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

(公財)かながわトラストみどり財団主催の第一回ブラッシュアップ研修会が行われました。

『野外における応急処置法』

講師: 日本赤十字社神奈川県支部 勝俣 氏

平成28年4月17日(日)10:00~15:00 場所: 厚木市プロミティ厚木

< 前田 弘美 13期 >

本日の講師が体調不良で急遽、来られなくなり、当日の実技補助のつもりで来られていた日本赤十字社の勝俣氏が臨時講師として講習会を行う事になりました。資料は、そのまま講義を開始。勝俣氏はさすがに場数を踏んだ講師、当日、見た資料でも要点をついて、自分の経験をもとに講義をされて行きました。

当日のスケジュールは①午前中: 講義(PPを使った)②午後: 実習(ここでもトラブル: AEDの電池切れ)

※資料はたくさんありましたので、要点をまとめました。

・ファーストエイド(First Aid)って何??

最初に負傷者に出くわした人間(バイ・スタンダーと言う: 発見者、同伴者等)が行う最初の応急手当、救急処置のこと。ケガ人や病人が医療機関に搬送されるまでの間、その病気やケガの悪化を最小限に留める為の行為 ⇒ 医療行為は、伴わない。

・資料について

今回の頂いた資料は、ケガ人や病人の状況把握を的確に把握する事で、ファーストエイドのプライオリティ(優先順位)に対応できるように記載されていました。重要な事は、不確定要素を多分に持っているフィールドで常に、不慮の事故に備えておく事。その為には、知識と技術はできる限り身につけておく事が、自分自身又は、参加者(同伴者)の安全に結びつくと思ひながらの講義内容でした。

・午後は、上記の行動手順をもとに、三角巾の折り方(包帯)、三角巾を使った足首ねんざの固定方法等を実習。



(三角巾の折り方)



(足首捻挫の固定方法)

感じた事。最近では、専門機関による救急法の講習会が受講できる機会が増えています。ファーストエイドの知識をもっと知りたいと思います。



(講義風景)

PP: パワーポイント

AED: 自動体外式除細動器 automated external defibrillator

・行動手順 (ステップ)

- ① 救護者を見つけた時は、
現場状況の把握 (二次災害を避ける)
⇒ 危険な状態なのか? 安全か判断。
⇒ 協力者を募る。
- ② 安全な場所で、救護者の意識レベルの確認。
(初期評価: 重症度の判断)
⇒ 声をかけて、肩を叩いて反応を見る。
⇒ 反応がなく、痛み⇒一刻も早く119番へ
- ③ 一次救命措置 (実習あり。)
⇒ 損傷部の観察
⇒ 気道確保
⇒ 呼吸の確認
⇒ 心拍の確認
⇒ 出血の確認
⇒ ショック状態かどうかの確認
- ④ 搬送 (救急隊への引き渡し)
⇒ 救急隊が来る前に、記録した情報をメモ書きし渡せるように整理。
・ 発生時刻・場所・負傷者の状態・人数
・ 外的環境・現在の状態・気になる点 等
※ 現物と一緒に採取、嘔吐物、写真でも

